

区民参画・協働の推進を

区の自己評価である政策評価のうち、「区民参画・協働の推進を」の項目には、指標もなく、残念である。常に点検し前進させることを念頭に頑張ってもらいたい。最近では20～30代の若者が「まちおこしプランナー」の呼びかけに、各地で行政と協働を始めている。ぜひ、荒川区でも若者が参画する企画をおねがいしたい。



地域活動サロンふらっと・フラットの充実を

これからの地域づくりに自主的に取り組む区民の輪を広げるために、交流の場を確保する必要がある。コミュニティカレッジ卒業生の活躍の場の紹介も必要だ。場所を広くし、開館日も増やすなどの検討状況は？

区：充実の方向で検討中である。

リサイクルセンターの運営計画づくりに区民の参画を

リサイクルセンターは、場所が東京ガス社員寮跡地に決まり、3年後の完成が予定されている。1階はリサイクル工場、2階は環境学習の場となる。

リサイクル回収する品目をどうするのか、環境学習をどうすすめるのか、障がい者雇用をどうするのかなど、いろいろな課題を区民が参画することで、リサイクルへの関心を高めることができるので、検討してほしい。

区：内部で検討しているが、区民の意見は求めていく。



防災

避難所運営委員会には女性委員を

豊島区では、女性視点の防災対策委員会をつくり、①避難所役員に女性を配置②女性専用スペースをつくる③避難所に相談窓口を設けるなどを区に進言した。荒川区では、防災計画のなかに②は記載されている。①③については、策定中の避難所マニュアルに盛り込むべきでは？

区：そのように策定する。

避難所訓練の時に防災意識アンケートを

避難所訓練の際、自宅の耐震について考えているか、家具転倒防止に取り組んでいるか、備蓄品は用意しているか、通電火災（自宅を離れるときはブレーカーを落とすと防止できる）を知っているか など、アンケート調査して、区民の防災意識を確認したらどうか。

区：質問項目を精査しながら、アンケートに取り組んでいきたい。

永久水利の整備（予算1億7千万円）とは？

尾久は隅田川から、日暮里は深井戸から取水というが、もっと説明が必要ではないか。

区：区内には消火槽・消火栓などが整備されているが、発災時に58%が断水すると水道局が予想している。都の工事には20年かかるので、待ってられない。区・関係機関・町会で検討会をつくり、早急に計画を明らかにする。

全小中学生に一人1台タブレット型パソコンを導入

～低学年には学力の基礎「書く力」がおろそかにならぬように注意を

全国の自治体に先駆けて、ICT(情報通信技術)を活用した教育をめざしている荒川区。今年度はモデル校(二日・尾久・三峡)で導入(予算5000万円)し、来年度は全校に導入する(予算5億円程度)。基礎学力が定着しているか、しっかり検証しながらすすめて欲しい。

